

本校定時制課程は、昭和12年（1937年）に東京府立第二中学校夜間中学として開設された、約90年の歴史をもつ伝統ある定時制高校である。地域からは、『立定』（たちてい）の名で親しまれ、これまで6700名を超える卒業生を輩出してきたが、東京都教育委員会による「都立高校改革推進計画」により、令和7年度より募集停止となったため今年度は第1学年がおらず、2、3、4学年による教育活動を展開してきた。

本校は、働きながら通っている生徒、他校を中途退学し本校で高校卒業を目指す生徒、外国籍の生徒、不登校経験のある生徒など、様々な事情を抱える幅広い年齢層の生徒を受け入れ、じっくり時間をかけて、生徒一人一人に目を向けた教育を行っている。その中で、最も重視しているのが、「進級・卒業に向けた指導」と「進路指導」である。本報告書では、今年度の学校経営の自己評価及び次年度以降に取り組むべき改善策を報告する。

## I 今年度の取組目標等に関する自己評価

### 1. 【重点目標・数値目標】の達成状況（過去5年間の推移）

#### (1) 学習指導に関すること

○ 3修制での卒業実現率 100%

( R3:71.4 R4:100 R5: 66.7 R6: 100 R7:100 ) 達成

○ 4年生の卒業率 100%

( R3:95.2 R4:100 R5: 91.4 R6: 97.1 R7:94.1 ) 未達成 (ほぼ達成)

#### (2) 生活指導に関すること

○ 予約者に対する給食の喫食率 75%以上

(R3:78.0 R4:74.3 R5: 80.2 R6: 72.7 R7:70.7 ) 未達成

#### (3) 進路指導に関すること

○ 上級学校進学希望者及び就職希望者の進路決定率 100%

( R3:57.1 R4:90.3 R5: 81.0 R6: 92.9 R7:82.1 ) 未達成

○ 卒業生全体の進路決定率 80%以上

(R3:60.0 R4:57.1 R5: 61.8 R6: 71.1 R7:57.5 ) 未達成

### 2. 【重点目標達成のための具体的方策】についての自己評価(4段階)

(自己評価の目安) A:達成 B:ほぼ達成 C:やや不十分 D:不十分

#### (1) 学習指導

ア 生徒の能力、適性等に対応した分かりやすい授業、興味のわく授業を行います。(B)

イ 年度末だけ補習を行うのではなく、考査前後や長期休業日中などの補習・講習等の個別指導を充実させます。(B)

ウ ICT機器・個人端末を有効活用し、個別最適化した学習、協働的な学習を実施します。(C)

エ 生徒が集中して学べる学習環境を保障するため、授業規律を守らせる指導を行います。(C)

オ 面談等を通して、学期ごとに履修・修得を生徒に意識させ、進級率を向上させます。(C)

#### (2) 生活指導

ア 全体指導(全校集会・学年集会)や面談(二者・三者面談)を通して、遅刻や欠席を減らす指導を充実させます。(C)

イ 食育指導を充実させ、給食の予約者に対する喫食率を向上させます。(C)

ウ 校内外の巡回指導を行い、喫煙防止等の徹底を図ります。(B)

エ SC・YSWとの連携により、生徒ケアと就労支援を充実させます。(B)

#### (3) 進路指導

ア 各教科の授業や総合の時間等を通して、全教員で早期からのキャリア教育を行い、進路意識を向上させます。(B)

- イ 学年ごとの各種説明会や講演会の内容を充実させ、生徒の状況にあった進路指導を実現します。(B)
- ウ 担任・学年や進路部との個別相談(面談)を通して適切な進路を選択させ、進路決定に繋がります。(C)
- (4) 特別活動(部活動・学校行事)
- ア 部活動への参加率の増加を図り、成就感・達成感を得ることを通して、学校活性化につなげます。(C)
- イ 学校行事への参加率の増加を図り、成就感・達成感を得ることを通して、学校活性化につなげます。(C)
- (5) 広報
- ア 開かれた学校づくりを推進するため、ホームページの充実を図り、都民へ情報発信を行います。(B)
- (6) 学校運営・組織体制
- ア 会議時間短縮や業務の効率化を図り、残業時間の前年比縮減を図ります。(A)
- イ 全・定の連携を強め、双方の取組が円滑に進むように随時情報共有を図ります。(B)

## II 次年度以降の課題とそれに対する改善策

|                     | 課題   | 改善策   |
|---------------------|--|---|
| (1)<br>学習指導         | 授業を大切に。基礎学力を身に着けさせる。生徒一人一人の資質・能力の向上を図る。                          | ①きちんと出席させる(出席率8割以上を目指す)。<br>②落ち着いた雰囲気の中で授業を行う。必要のないおしゃべりをさせない。スマホに触らせない指導を徹底する。<br>③授業時数を確保し学力を育む。分かった・できた・面白い、がある授業をつくる。基礎・基本を重視した分かる授業を実践する。<br>④多様な選択科目の設置と習熟度別・少人数授業の編成等による個に応じた学習環境を整備する。<br>⑤ICTを活用した授業改善を図る。 |
| (2)<br>生活指導         | 基本的な生活習慣を確立させる。人と関わる力と、健やかで豊かな心身の育成を図る。授業以外の学校の時間を大切にする。         | ①遅刻・欠席を減らす・なくす。<br>②授業以外の、学校行事、部活動、給食の時間等に積極的に参加させる。ルールを守り、楽しく取り組む。<br>③挨拶の励行、時間やルールを守るといった規範意識・マナー意識を育成する。<br>④奉仕の心、助け合いの心を養う教育を実践する。<br>⑤人権教育・ダイバーシティ教育を推進する。   |
| (3)<br>進路指導         | 進路未決定者を減らす、なくす。社会人として必要な力を育成し、個々に応じた進路希望の実現を図る。自分の進路を考え、社会とつながる。 | ①学年ごとの進路指導を充実させ、進路未決定者を減らす、なくす。<br>②個人面談、三者面談の時間を確保し、生徒・保護者の声を聞く。<br>③SC、YSW、外部機関等と連携して課題解決にあたる。<br>④望ましい勤労観の育成、キャリア教育全体計画に基づいた進路指導を充実させる。  |
| (4)<br>特別活動         | 学級数が減少していく中で、部活動・学校行事の充実を図る。                                     | ①学校行事・部活動への積極的な参加を奨励する。<br>②令和8年度は3、4学年のみとなるため、学級数が減っても充実感を味わえる部活動、学校行事等を工夫して行う。  |
| (5)<br>広報           | 効果的な広報活動を展開する。   | 学校ホームページを充実させ本校の取組を広く発信する。  |
| (6)<br>学校運営<br>組織体制 | 働きがいのある職場を構築する。「働きがい」+「働きやすさ」、「やりがい」と「つながり」を大切にする。               | ①働き方改革の推進・業務の効率化を図る。<br>②安心・安全な教育環境を維持する。<br>③教員のメンタルヘルスに関する機関と連携した相談体制を充実させる。  |